

報道関係者各位

2025年12月吉日
加山興業株式会社

中小企業・SDGsビジネス支援事業（JICA Biz）2025年度公示に採択

ー ラオス国食品廃棄物を活用した飼料製造および高付加価値タンパク質製造のニーズ確認調査 ー

加山興業株式会社は、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する「中小企業・SDGsビジネス支援事業（JICA Biz）」2025年度公示において、「ラオス国食品廃棄物を活用した飼料製造及び高付加価値なタンパク質の製造におけるニーズ確認調査」が採択されましたので、お知らせいたします。本事業は、株式会社ハーツを共同事業者として実施いたします。

事業概要

本事業は、ラオスにおける食品廃棄物の増加や適正処理能力不足といった課題に対し、食品廃棄物の飼料化およびミズアブを活用した高タンパク質原料の製造を通じて、資源循環型ビジネスの可能性を検証するものです。家庭、ホテル、レストラン、食品工場などから発生する食品廃棄物を回収・破碎・減容化し、①エコフィードとしての飼料供給、②ミズアブを用いた高付加価値タンパク質原料の製造を行います。副産物であるフンは肥料として農業に還元し、油分は燃料化も可能とすることで、地域内循環を促進しサーキュラーエコノミーの実現を目指します。

技術・サービスの特徴と優位性

本事業の中核となる技術は、発酵資材や配合、粒度、水分量、温度管理などを最適化することで開発された独自のエコフィード技術です。養豚用飼料の発酵・乾燥技術を応用することで、ミズアブの吸収効率を高め、従来3～4%程度とされてきたタンパク質転換率を約5%まで向上させることに成功しています。少ない飼料投入量で効率的に高品質なタンパク質を生産できる点は、飼料コスト制約の大きい発展途上国においても高い適応性を有します。

社会的・経済的インパクト

本事業により、食品廃棄物の削減、埋立処分場における環境汚染や火災リスクの低減、温室効果ガス排出削減が期待されます。また、魚粉代替となる安定的なタンパク質供給により、養殖・畜産分野におけるコスト削減と生産性向上、さらには地域雇用創出にも寄与します。

今後の展望

当社は「緑あふれるクリーンな日常を世界へ」というビジョンのもと、これまで培ってきた廃棄物処理・資源循環の知見を活かし、開発途上国における持続可能なビジネスモデルの確立を目指します。本調査を通じて事業性および社会的インパクトを検証し、将来的な本格展開につなげてまいります。

【問い合わせ先】

加山興業株式会社 経営企画室 MAIL : kikaku@kayama-k.co.jp TEL : 0120-053-381

